

Under100

使用方法

■使用方法目次

[本体の開閉](#)

[アドバイス](#)

[傾斜測定](#)

[上り/下りの測定](#)

[フック/スライスの測定](#)

[水平補正](#)

[グリーンスピードを求める方法](#)

[距離測定](#)

[旗高](#)

[肩高](#)

[計算補正](#)

■本体の開閉

- 1.水平補正/傾斜測定の場合は本体を必ず閉じて使用します。
- 2.本体を閉じたまま使用することをお勧めします。
- 3.画面が見にくい場合は開いて使用することも可能です。

■アドバイス

電源ON（初期設定完了後）して、アドバイスはメイン画面として、素振りより打つ距離予測、振り方の質を教えてくれる。



■画面項目説明

- 予測距離：素振りより打つ予測距離
- 理想振り：理想的な振り子のスイング
- 実際振り：実際のスイング
- 手首曲がり：スイングの際に手首が曲がっていたかを示す

■パッティングの基本：

1. リズム
2. 時計の振り子のように振る
3. 腕を曲げない
4. 距離感

■打つ距離予測

素振りすると、打つ距離が予測されます。

1回の素振り完了時点で、白色で予測距離が表示され、戻す時に黄色で距離が表示される。

繰り返し素振りして、打とうとする距離を探す。

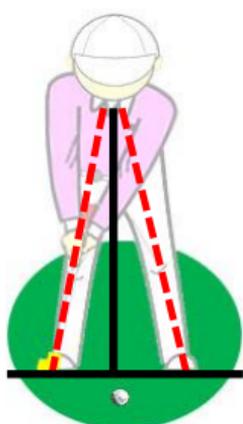
***グリーンスピード、肩高は正確な設定が必須**
***グリーンスピードを求める方法は本章を参照する**

***不適正(独特)なスイングの場合は正確な予測ができない。Q&Aを参照する**

■振り子のような素振りのチェック

実際振りの黄色ラインと理想振りの緑色ラインが近ければ近いほど、スイングがよい。これは安定的な打つ力、距離感を身に付ける基本です。

*等幅で素振りすること



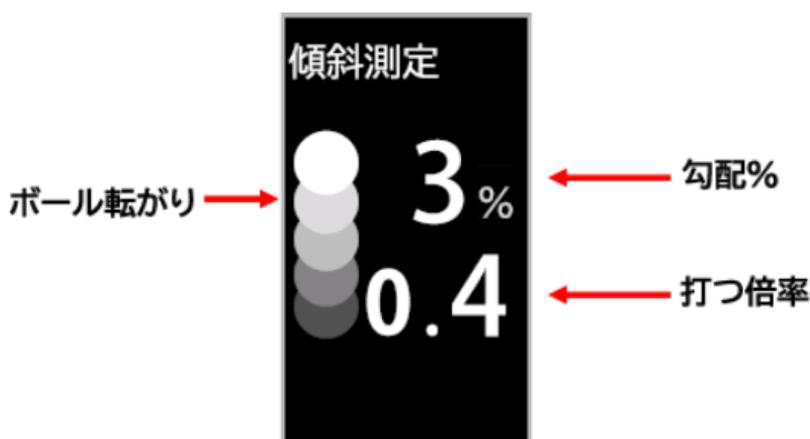
手首曲がりチェック

赤色手首曲がりのラインは直線であれば、手首が曲がっていないことです。狙い方向へ打てる基本です。

■傾斜測定

本体を閉じて、パターをグリーンに置けば、自動的に測定される。

測定データの表示

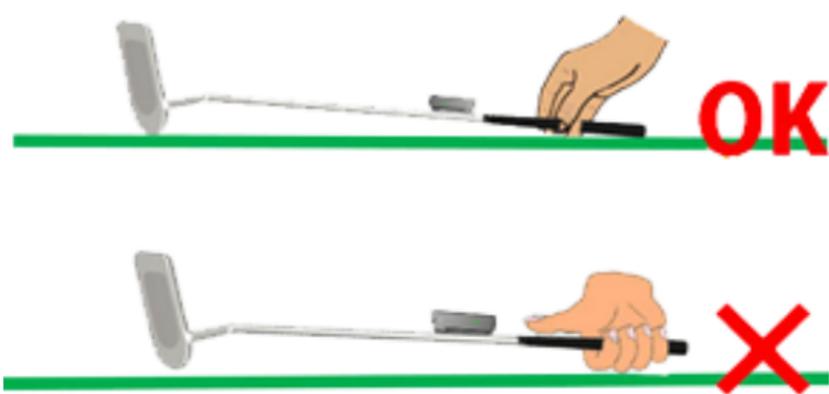


画面項目説明

ボール転がり：ボールの転がる方向
勾配%：エムポイントの度数とする
打つ倍率：傾斜の程度による打つ力の加減倍率。

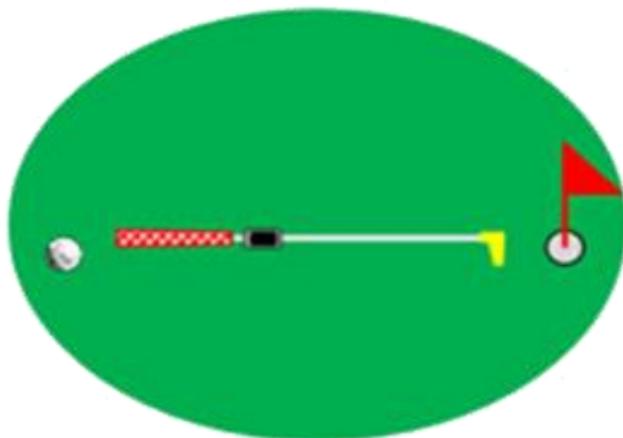
注意

本体を閉じた状態で、上り/下り、フック/スライスを測定する。
手をグリップの下に敷かないで下さい。測定する場合はパターのヘッドが上向きになること。手で倒れないように支えてください



上り/下りの測定

上り/下り測定時のパターの置き方向



ボール転がりはボールの上り/下り方向を見極める。画面上へ転がる場合は下り。画面下へ転がる場合は上り。

例：打つ倍率：0.4

ボールから旗までの距離：10メートル

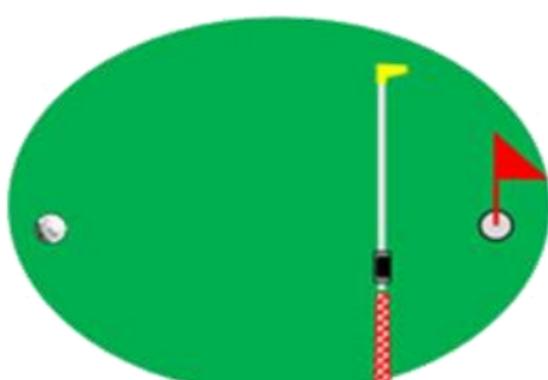
実際の打つ距離は：

$0.4 \times 10 = 4$ メートルとなる

いわゆる、距離が10メートルですが、下りなので4メートルを打てばよいです。

フック/スライスの測定

フック/スライス測定のパターの置き方向



ボール転がり方はフック/スライス方向を見極める。

例1：

図のようにパターを置く場合、画面上へ転がる場合はフック。画面下へ転がる場合はスライス。もしパターを反対方向に置く場合は、画面上へ転がる場合はスライス。画面下へ転がる場合はフック。

例2：

勾配%：3%，エイムポイントの度数は3とし、指は3本とする。

傾斜測定を終了

パターを持ち上げると自動的に終了し、アドバイス画面に戻る。

■水平補正

手をグリップの下に敷かないで下さい。測定する場合はパターのヘッドが上向きになること。



上り/下り、フック/スライスの測定は水平計測原理で、いろいろな種類のパターがあるので初期値0度に調整する必要がある。本体の水平計測には高い精度が必要のため、必ず初期セットアップの手順に従って水平補正を行うこと。

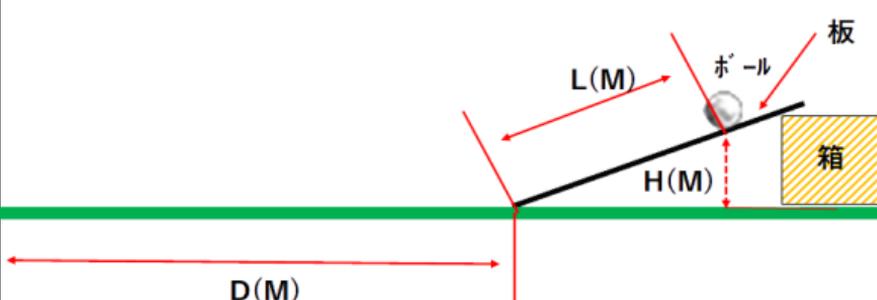
パターを交換しない限り、初期セットアップ1回のみです。

■グリーンスピードを求める方法

グリーンスピードは打つ予測距離時に非常に重要な基本情報です。正確でないと打つ予測距離が正しくでない。

練習用計測道具(家などで適用)

マットは一般的にグリーンスピードは12.0程度です。



板：

板、靴ベラ、段ボールなど

を利用して、長さは50cm程度でよいです。

L: ボールを転がす開始位置から下までの距離 (メートル)

H: $H = L \times 0.34$

ボールを転がす開始位置からの垂直の高さ。箱を前後に移動してHの高さを探す。

D: ゴルフボールの転がる距離 (メートル)

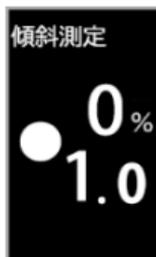
グリーンスピード (Feet) = $0.85 \times D \div H$

ゴルフ場で

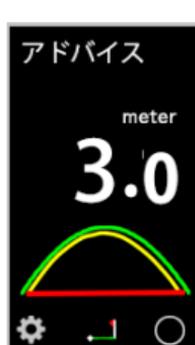
ゴルフ場にはグリーンスピードが提示されていますが、毎日計測していないため、実際のグリーンスピードとかなり違ってきます。

プレーする前に練習グリーンで以下のように登録されているグリーンスピードが正しいかチェックする必要があります。

1. 本体を閉じた状態で、パターを練習グリーンに置き、傾斜測定機能で、上り/下りの倍率が1.0程度で約3メートルの平坦地を探す。



2. アドバイス画面で、約2.5~3.0メートルほど安定的な予測距離で素振りして、ボールを打つ。例えば、数回安定的な3.0メートルほどの素振りする。その素振りの力で3回以上ボールを打つ。



3. 実際に打ったボールの平均距離を測り、打った距離とする。距離は、パターの長さを利用して測る。

例えば：

パターの長さは0.8メートルとしたら、距離はパターの長さの3.5個分としたら、打った距離は2.8メートルとなる。
 $0.8 \times 3.5 = 2.8$

4. メニューのグリーンスピード設定画面でグリーンスピーを設定する。設定しようとするグリーンスピードの計算方法:

A: : 打った距離

B : 予測距離

C : 登録してあるグリーンスピード

グリーンスピード = (A ÷ B) × C

計算後グリーンスピードを設定する。

*グリーンスピードの設定を難しいと思ったら、Q&A表を参照してください。

■ 距離測定

距離測定は10cm精度で計算されている。

■ 旗高

旗高はカメラでの距離測定の基本情報である。旗高の初期値は2.4メートルになっているが、ほとんどの旗高は2.3メートル~2.5メートルの間です。2.4メートルに設定すれば、距離測定誤差が5%以内となる。

■ 肩高

アドバイスする時に打つ距離予測使用情報です。肩高の初期値は1.2メートルで設定は初期設定のみです。

■ 計算補正

計算補正とはアドバイス時に打つ距離予測を微調整する機能です。

実際の打つ距離が予測距離より短ければ100%以下に設定し、遠ければ100%以上に設定する。

100%のままがお勧め。